

駐車場のご案内

駐車場は約450台分のスペースがあります。



交通手段のご案内

- 最寄りの駅：JR西日本 加賀温泉駅 (駅より徒歩3分)
- 乗り入れするバス路線 病院正面にバス停が設置されます。
 - 温泉大聖寺線 ■ 吉崎線 ■ 温泉山中線 ■ 温泉片山津線 ■ CANBUS (キャン・バス)
- 加賀市乗合タクシー
市内全域からご来院いただけます。

予約受付 **0761-77-0120**
(加賀第一交通株)

予約受付時間 午前7時～午後7時



加賀市医療センター
Kaga Medical Center

〒922-8522 石川県加賀市作見町36番地
TEL 0761-72-1188 FAX 0761-76-5162
(平成28年4月1日開通)
<http://www.kagacityhp.jp/kmc/>



Vol.4

[平成28年3月]

Kaga Medical Center

加賀市医療センター

通信

平成28年4月に誕生する
「加賀市医療センター」に関する
詳しい情報をお知らせいたします。

特集
誌面院内ツアー
外来受診案内
座談会



診療制限のご案内

加賀市医療センター開院前後、診療を制限します。

加賀市医療センター開院前後、加賀市民病院及び山中温泉医療センターの移転作業のため、各病院の一般外来・救急外来診療を下記のとおり制限させていただきます。

市民の皆様や関係者の皆様にはご不便とご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

- 一般外来休診期間：平成28年3月29日(火)～4月3日(日)
外来診療は4月4日(月)から
- 一般外来診療制限期間：平成28年4月4日(月)～4月8日(金) (予約診療の制限)
- 救急外来診療制限期間：平成28年3月29日(火)～4月1日(金)

※3月31日(木)山中温泉医療センター救急外来休診

月		3月														
日		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
外来	加賀市民病院	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
	山中温泉医療センター	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
救急	加賀市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
	山中温泉医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×

月		4月										
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
外来	加賀市医療センター	×	×	×	◇	◇	◇	◇	◇	×	×	○
救急	加賀市医療センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

開院日

凡例：○通常通り △制限あり ×休診 ◇予約診療の制限

連絡先

加賀市民病院
 TEL:0761-72-2100 FAX:0761-72-0271 e-mail:soumu@city.kaga.lg.jp (平成28年3月31日まで)

山中温泉医療センター
 TEL:0761-78-0301 FAX:0761-78-5234 e-mail:yamanakahosp@city.kaga.lg.jp (平成28年3月31日まで)

加賀市医療センター
 TEL:0761-72-1188 FAX:0761-76-5263 e-mail:soumu@city.kaga.lg.jp (平成28年4月1日～)

誌面院内ツアー

4月1日に開院する加賀市医療センターを一足先にご紹介します。

3F～6F(病棟・リハビリテーションセンター)

3F～5Fまでが一般病棟、6Fが回復期リハビリテーション病棟及びリハビリテーションセンターとなっています。

スタッフステーション

病室〈全室個室、シャワー・トイレ付き〉

60 リハビリテーションセンター

展望ラウンジ

※図は3Fです。

※掲載写真のすべては、什器備品搬入前のものです。開院時とは異なります。

誌面院内ツアー

2F



1F



※掲載写真のすべては、什器備品搬入前のものです。開院時とは異なります。

外来受診のご案内

外来診療受付時間

- 初診** 午前8時30分～午前11時30分
- 再診** 午前7時45分～午前11時30分
- 休診日** 土曜日、日曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日



診療科	内科 C	循環器内科
		呼吸器内科
		内分泌・代謝内科
		腎臓内科
		神経内科
	外科 B	消化器内科
		リウマチ科
		消化器外科
		乳腺外科
		肛門外科
A	整形外科	
F	産婦人科	
E	小児科	
E	眼科	
E	耳鼻いんこう科	
D	皮膚科	
D	泌尿器科	
B	脳神経外科	
B	総合診療科	
救急科(5ページ 18)		
放射線科(5ページ 15)		



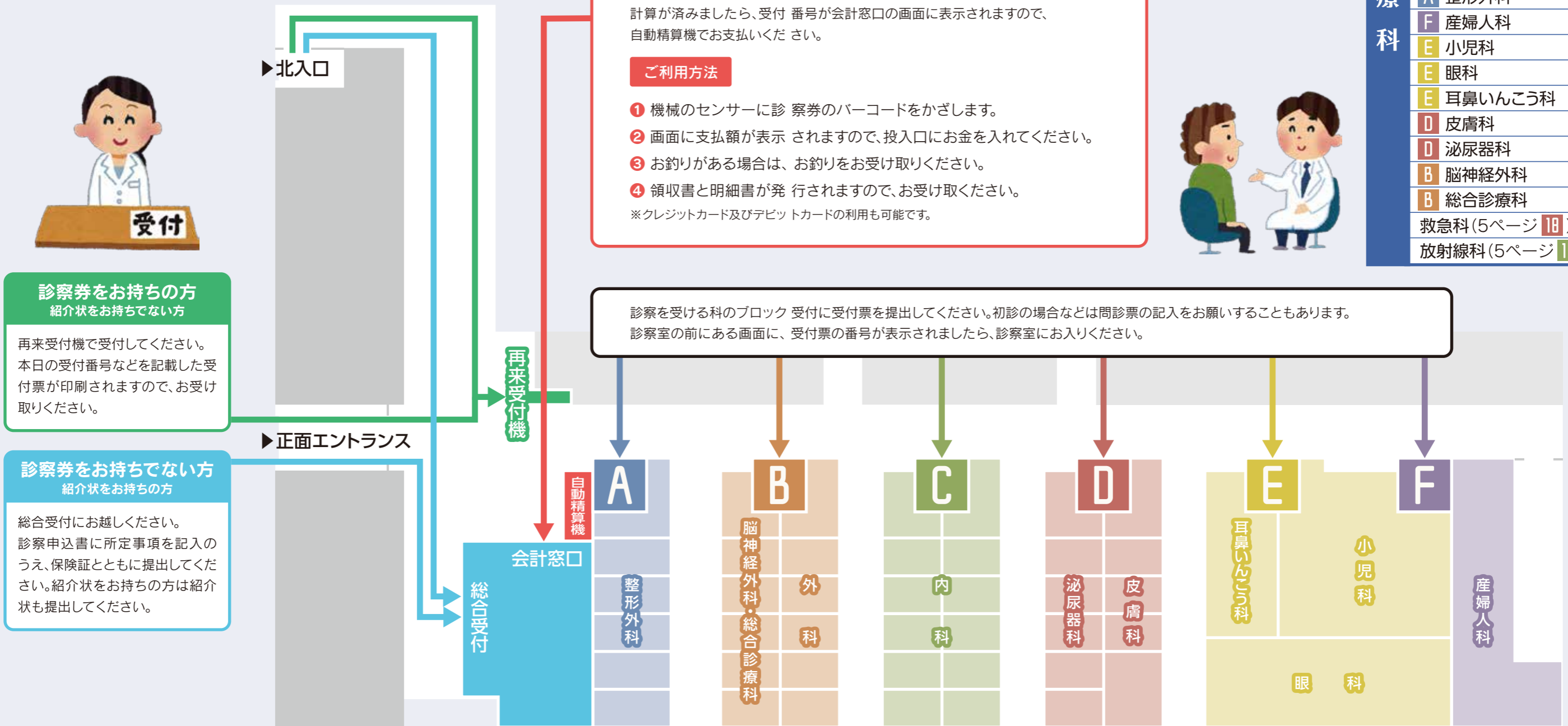
加賀市医療センターでは新たに自動精算機を2台導入します。

診察終了後、受付票を会計窓口にお渡しください。
計算が済みましたら、受付番号が会計窓口の画面に表示されますので、自動精算機でお支払いください。

ご利用方法

- 1 機械のセンサーに診察券のバーコードをかざします。
 - 2 画面に支払額が表示されますので、投入口にお金を入れてください。
 - 3 お釣りがあられる場合は、お釣りをお受け取りください。
 - 4 領収書と明細書が発行されますので、お受け取ってください。
- ※クレジットカード及びデビットカードの利用も可能です。

診察を受ける科のブロック受付に受付票を提出してください。初診の場合などは問診票の記入をお願いすることもあります。
診察室の前にある画面に、受付票の番号が表示されましたら、診察室にお入りください。



診察券をお持ちの方 紹介状をお持ちでない方

再来受付機で受付してください。
本日の受付番号などを記載した受付票が印刷されますので、お受け取りください。

診察券をお持ちでない方 紹介状をお持ちの方

総合受付にお越しください。
診察申込書に所定事項を記入のうえ、保険証とともに提出してください。紹介状をお持ちの方は紹介状も提出してください。

地域連携、在宅医療・介護連携

“地域連携センターつむぎ”を 拠点とした連携について

医療と介護、行政をつなぐ 人と情報の拠点を開設

加賀市在宅医療連携推進協議会 代表
(加賀たちばな元気クリニック 院長)

橘 秀樹 先生

加賀市介護サービス事業者協議会 会長
(加賀市地域医療審議会 委員)
(介護老人保健施設 加賀のぞみ園 事務長)

原 種孝 氏

加賀市民病院 副院長
地域医療連携室 室長

白崎 直樹 先生

聞き手 加賀市民病院 地域医療連携室 副室長 下野 典子 看護師長・医療福祉連携士

住み慣れた地域で 安心して暮らし続けるために

下野 典子 看護師長(以下、下野) いよいよ、4月に加賀市医療センターがオープンします。加賀の地域において、この病院はどのような役割を担うのでしょうか。

白崎 直樹 副院長(以下、白崎) 加賀市医療センターは、主に救急や急性期を担う病院として開設されます。発症直後の患者さんや、在宅などで容態が急変した患者さんをしっかり受け入れていくことが求められます。“身近に安心できる病院があれば”とい

う市民の皆さんの期待に応えたいと思います。ただ、急性期を脱して状態が落ち着けば退院ということになりますので、慢性期の病院や地域の診療所、さらには高齢者の場合には、生活を支える介護サービスへの引き継ぎもしっかりと行っていかなければなりません。病院と診療所、介護サービスをつなぐ橋渡しも大きな役割のひとつになると考えています。

下野 近年、病気や介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた家で暮らしたいという方が増えているように感じます。橘先生は、訪問診療など「在宅医療」を中心に行っておられますが、在宅医療の現場での実感はいかがですか。

橘 秀樹 先生(以下、橘) 実際、安定した状態になったら自宅での療養を希望する患者さんは多いですね。その場合、病院の地域連携の担当者を窓口として、私たちのような地域の開業医に引き継がれ(逆紹介)、私たちが「かかりつけ医」として外来や、通院が困難な患者さんの家へ出向いていく訪問診療という形で関わり、必要に応じて検査や入院治療を病院にお願い(紹介)することになります。また、医療だけでは快適な生活ができませんので、ケアマネジャーやヘ

ルパーを中心とした介護・福祉のサービスを利用することが多々あります。医療と介護が同時に関わっていくことになりますので、それぞれの専門職の連携が大事になってきます。

下野 高齢者の場合、退院後の生活で介護が必要になることも多いですね。介護サービスを提供される立場からは、加賀市医療センターにどのようなことが期待されますか。

原 種孝 会長(以下、原) 介護サービスはケアマネジャーが中心になり、ご利用者さまとご家族の生活全体を見てプランを作成し、実際のサービス利用を進めていきます。加賀市は他の地域に比べて介護施設が多く、施設への受け入れもわりと余裕がありますし、地域密着型や在宅サービスにも力を入れています。どの施設もつねにサービスの質の向上に努めていますし、法人間や事業所間での情報交換も活発に行っています。とはいえ、ケアマネジャーやヘルパーなど、介護サービスを行う職員の多くは医療の専門家ではありませんので、医療関係者との意思疎通や情報交換において難しさを感じることもあります。とくにご利用者さまの体調が急変したときなどの対応に困惑することもありますので、そういうときにスムーズな対応ができるようになれば安心です。

白崎 加賀市民病院の地域医療連携室では看護師を配置して、介護職の人からの相談にも対応していましたし、退院前には、かかりつけ医や介護職の人とカンファレンス*を行い、情報を共有してきました。加賀市医療センターの連携部門では、大切な役割を果たす看護師をさらに増員し、外部の医療機関や介護職の人からの問い合わせにも対応します。また、福祉分野に通じた医療ソーシャルワーカーとも連携して、退院後にスムーズに生活の場へ戻れるよう、必要なサービスの調整などをします。

下野 看護師は、入院時から退院支援が始まるという意識で動いていますので、連携における看護師の役割は大きいんですね。

病・診、介護、行政をつなぐ “地域連携センターつむぎ”

白崎 加賀市医療センターの地域連携部門には、同じ部屋に市の地域包括支援センター(高齢者こころまちセンター)のサブセンターも設置されます。このサブセンターでは、加賀市医療センターのほか市内の医療機関に入院している高齢者の患者さんがスムーズに自宅などの住まいや介護施設などに移ることができるよう支援します。病院と地域包括支援センターの職員が机を並べることになりますが、この窓口を「地域連携センターつむぎ」としました。「地域連携センターつむぎ」は、①地域の病院、診療所との紹介・逆紹介などの地域医療連携、②患者さんの入退院の相談や退院後の生活を見据えた支援など入退院支援の機能、③サブセンター設置による在宅介護サービス利用などの相談対応、④在宅医療・介護連携の相談窓口として医療・介護の専門職の支援、といった役割を担います。

下野 病院側だけでは患者さんの地域での生活の状況が見えないことがありますが、地域包括支援センターと一緒にいることで、生活を見据えた支援がこれまで以上に充実しそうですね。

白崎 加賀市医療センター内には、医師会事務所も入りますから、病院、医師会、行政の間の情報交換が格段にスムーズになることが期待されます。病院と診療所の連携に

おいて、ポイントとなるのは?

橘 病院から患者さんを引き継ぐ開業医にとって、退院時のカンファレンスはとても重要なものですが、時間調整が難しく、紹介状に頼ることが多くなっています。病院の医師がていねいに書いてくださるのですが、さらに詳細なデータを見たいということも往々にしてあります。医療情報システム「IDリンク」の利用がより徹底すれば、患者さんの情報共有が進み、これまで以上に充実した医療が提供できますね。加賀市医療センターになって、地域連携センターの人員体制が強化できるのであれば、患者さんに関する問い合わせがしやすくなるものと期待しています。

白崎 その点は改善を進めているところです。実際のところ、患者さんの同意を得られた「IDリンク」の登録数は順調に伸びていますが、在宅の患者さんについては情報が少ないようです。本年4月からは画像データと、医師のコメントも見られるようになりますので、より有益なものになるものと思います。

下野 加賀市医療センターの医師も、地域連携センターがあることで、診療所からどんな要望があるかを知ったり、どこへ引き継げばよいかを相談しやすくなりますね。介護のほうでは、医療との関係はどうでしょう。

原 介護はいま、その方の生活を大切にするために在宅中心に考えて進めておりますが、かかりつけ医との関係が大切だということを実感しています。しかし、かかりつけ医がないという方も多くいらっしゃいます。その時その時で違うお医者さんにかかるとか、何かあればすぐに病院に行くとか。小さな事



加賀市在宅医療連携推進協議会 代表
橘 秀樹 先生

業所の場合、診療所に往診をお願いしますが、たまたま不在ということもありますので、そういう時は困ります。とくに看取りの場合は急を要しますから。

橘 看取りに限らず、いまは独居の方が増えていて、遠くの家族よりも身近で介護をしている方に病気のことを相談する場面も多くなっています。しかし、介護職の方は医療的な質問への答えを持ち合わせていませんし、アドバイスになることもなかなか言えません。そういう、医療に詳しくない介護職の方から医師や看護師などの医療職につなぐ体制が必要なのだと思います。

原 介護職だけでは、すぐに医療的な処置を受けたほうがいいのかどうかの判断は難しいのですが、お忙しい先生に、介護職から直接相談はしにくいことがあります。まずは看護師に相談できたり、あるいは必要ときに看護師や、医療ソーシャルワーカーから医師につないでもらうというのが安心です。



*カンファレンス/医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーや介護士などが、分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者さんに対して最適な支援方法を話し合い、検討すること。



加賀市民病院 副院長
地域医療連携室 室長
白崎 直樹 先生



加賀市介護サービス事業者協議会 会長 原 種孝 氏

どれだけ余力があるかといった情報も「地域連携センターつむぎ」で把握していただくと効率よく問い合わせができますので、在宅医としてはその点もお願いしたいと思います。医療と介護の連携を包括的に担っていただけると、迅速なサービス提供ができるのではないかと思います。

市民のニーズで連携を 今後は認知症対応にも注力

下野 あらためて、これからの「連携」はどのような姿になっていくのでしょうか。

白崎 “そもそも連携は誰のために行うものなのか”というところに立ち返る時期にきているのではないかと思います。最初に地域医療連携室ができたときは、病院と診療所の「病診連携」が叫ばれていて、患者さんの診療に関する情報のやりとりの推進起爆剤として診療報酬で評価されたりして、盛んになってきたいきさつがありますが、最近では利用される市民のプラスになるように、みんなが動くということが使命になってきています。ある意味では、医療者側の利益にならないようなことや、ときにはムダになるようなことで

もやりますし、市民が望んでいるものと、私たちが提供しようとしているものが違う場合には柔軟に変更していかなければなりません。市民の声を聞くという姿勢が大事なことだと思っています。ですから、「地域連携センターつむぎ」にしても、何年後には市民のニーズに応じて変わっていくことも予想されます。医師会や介護サービス事業者協議会などが一緒になって、在宅医療連携推進協議会として活動しておられますので、地域連携センターはその拠点としての機能を果たしていきたいと思っています。また、市では地域包括支援センターのサブセンターを足掛かりとして、今後さらに増えると見込まれる認知症への対応にも力を入れるとのこと。病院と市が力を合わせて地域医療に取り組んでまいりますので、これからも関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

下野 病院、診療所、介護のそれぞれが、患者さんのために連携して力を出し合う。その拠点となるのが、「地域連携センターつむぎ」の目指す姿ですね。市民の皆さんに、安心して日々の生活を送っていただけるよう、私たちができる限り力をつくしていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

下野 そういう時には、「地域連携センターつむぎ」が介護職の相談窓口として力を発揮することがありそうですね。

白崎 はい。まさに医療と介護の連携が目的ですから、介護の方々から出る不安や問題を医療職とともに解決していくという役割を持った現場を作っていけたらと考えています。

原 介護の現場としては安心です。在宅生活をされている方が急変した時に、看護師がある程度判断したり、助言したり、医師に伝えたりしてくれれば、時間的にも精神的にも助かります。

橘 加賀市には、訪問看護ステーションが5つあって、数としては充実しています。在宅療養では訪問看護師が主体になって対応し、必要に応じて医師につないでいます。病院の看護師と、訪問看護師の連携がとても重要になります。とはいえ、訪問看護ステーションはどれも忙しいのが実情です。どこに



地域連携センターつむぎ

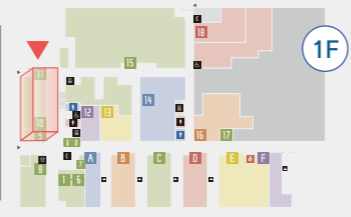
退院後の療養生活や在宅介護サービスの利用などについて、入院前から退院後の生活を見据えた包括的な支援を行います。

病院の機能	入退院支援	・手術や検査などのスケジュールの説明 ・入院生活についての説明・相談 ・かかりつけ医や介護サービス事業者との連絡調整 ・転院先の受け入れ調整 など
	病診連携	・紹介患者さんの診療・検査予約、受診調整 ・かかりつけ医の紹介 など
	医療相談	・退院後の生活相談 ・医療費・生活費などについての相談 ・社会保障や福祉制度利用についての相談 など

市の機能 介護相談

在宅介護サービス、高齢者福祉サービスの相談

TEL.0761-76-5132 (紹介予約用) FAX.0761-76-5160
TEL.0761-76-5133 (医療相談用) FAX.0761-76-5161
(平成28年4月1日開通)



病児・病後児保育「かもっ子」開園のお知らせ

平成28年4月1日、病児・病後児保育「かもっ子」が加賀市医療センター内に開園となります。これにともない、山中温泉医療センター内「このゆびとーまれ」、動橋町「このゆびとーまれⅡ」及び加賀市民病院内「はとぼっぼ」は平成28年3月31日で閉園となります。また、病院移転のため、各施設を下記のとおり休園させていただきます。ご了承ください。

- 対象：0歳から小学校6年生までの病児、病後児
- 保育日：月曜～金曜（祝日及び12月29日～翌年1月3日まで除く）
- 保育時間：8:30～17:30
- 利用料金：1回 2,000円（昼食・おやつ込み）、
半日[4時間未満] 1回 1,000円（食事・おやつ代 500円）
- 時間外利用：早朝利用 7:30～8:30 夕方延長 17:30～18:30
1時間 300円（30分を超えた場合は1時間とみなします）

	3月				4月			
	28月	29火	30水	31木	1金	2土	3日	4月
かもっ子					×	×	×	○
このゆびとーまれ	○	○	○	×				
このゆびとーまれⅡ	○	○	○	×				
はとぼっぼ	○	○	○	×				

×…休園 ○…通常どおり

※ご利用の際には右記に申込みください。当日申込みでも結構です。

病児・病後児保育「かもっ子」 TEL.0761-76-5179

平成28年4月4日から受付いたします

3月13日に内覧会を行います

加賀市医療センター内覧会開催のご案内

4月1日の開院（外来診療は4月4日〈月〉から）に先立ちまして、完成内覧会を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

内覧会日程 平成28年3月13日（日） 午前9時～午後4時

当日は正面玄関よりお入りください。お車で越えの方は加賀温泉駅前交差点から入り、係員の誘導に従って駐車してください。事前予約は必要ありません。直接ご来場ください。

ボランティア募集

窓口

加賀市民病院 総務課 人事係 〒922-8522 石川県加賀市大聖寺八間道65
Tel:0761-73-5808 Fax:0761-73-0547 E-mail:soumu@city.kaga.lg.jp
(平成28年3月31日まで)

加賀市医療センターでは、ボランティアを募集しています。意欲のある方であればどなたでも結構です。希望される方は上記の窓口までご連絡ください。

活動時間 午前7時45分から午後5時15分の間で、ご希望される時間（土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月28日～1月3日）を除く）来ていただける日と時間帯については、ご相談ください。

活動内容 ● 病院内施設のご案内 ● 車いす移送 ● 車いす清掃 ● 入院される患者さんの病室へのご案内
● 再来受付機、自動支払機の説明 ● 病院建物周囲の清掃 ● 患者さんの身の回りのお世話 など

初診時選定療養費について

初診時選定療養費とは、「初期の治療は地域の医院・診療所等（かかりつけ医）で、高度・専門医療は病院（200床以上）で行う」という、医療機関の機能分担の推進を目的として厚生労働省により制定された制度です。

この制度に基づき、一般病床（300床）の加賀市医療センターでは、初診時選定療養費1,000円+消費税を初診患者のみならずにご負担していただくこととなります。

山中温泉医療センターでは、病床数199床であったため初診時選定療養費をいただいております。なお、加賀市民病院および山中温泉医療センターから継続して加賀市医療センターに受診される場合は、「再診」となりますので、初診時選定療養費の負担はありません。